

生命保険講座「生命保険計理」
試験問題【フォームC】
〈2023年度〉

● 注 意 事 項

1. 試験時間は80分です。
2. 試験問題は、全部で50問あります。《100点満点》
問題1から20は、語群の中から適切なものを選ぶ問題《各1点：20点満点》
問題21から25は、正しいものを1つ選ぶ問題《各4点：20点満点》
問題26から30は、誤っているものを1つ選ぶ問題《各4点：20点満点》
問題31から40は、正誤を選ぶ問題《各1点：10点満点》
問題41から50は、適切な組み合わせを選ぶ問題《各3点：30点満点》

一般社団法人 生命保険協会

<付表1> 生保標準生命表 2018 (死亡保険用) (女)

年齢	生存数	死亡数	死亡率	年齢	生存数	死亡数	死亡率
39	98,850	82	0.00083	62	94,282	390	0.00414
40	98,768	87	0.00088	63	93,892	409	0.00436
41	98,681	92	0.00093	64	93,482	428	0.00458
42	98,590	98	0.00099	65	93,054	450	0.00484
43	98,492	102	0.00104	66	92,604	477	0.00515
44	98,390	110	0.00112	67	92,127	510	0.00554
45	98,279	120	0.00122	68	91,616	552	0.00603
46	98,160	133	0.00135	69	91,064	602	0.00661
47	98,027	147	0.00150	↓	↓	↓	↓
48	97,880	163	0.00167	100	7,586.6	2,197.0	0.28959
49	97,717	178	0.00182	101	5,389.6	1,725.8	0.32021
50	97,539	192	0.00197	102	3,663.8	1,293.7	0.35310
51	97,347	205	0.00211	103	2,370.1	920.1	0.38820
52	97,141	219	0.00225	104	1,450.0	616.89	0.42543
53	96,923	234	0.00241	105	833.14	387.10	0.46462
54	96,689	248	0.00256	106	446.05	225.50	0.50554
55	96,441	260	0.00270	107	220.55	120.830	0.54785
56	96,181	273	0.00284	108	99.723	58.951	0.59115
57	95,908	288	0.00300	109	40.772	25.888	0.63494
58	95,620	303	0.00317	110	14.884	10.1008	0.67863
59	95,317	322	0.00338	111	4.7833	3.4515	0.72158
60	94,995	345	0.00363	112	1.3318	1.0162	0.76308
61	94,650	368	0.00389	113	0.3155	0.3155	1.00000

<付表2> 複利表 (複利終価表) 年 1.0%

複利終価表			複利現価表			
年	期始払終価	期央払終価	期末払終価	期始払現価	期央払現価	期末払現価
1年	1.010000	1.004988	1.000000	1.000000	0.995037	0.990099
2	1.020100	1.015037	1.010000	0.990099	0.985185	0.980296
3	1.030301	1.025188	1.020100	0.980296	0.975431	0.970590
4	1.040604	1.035440	1.030301	0.970590	0.965773	0.960980
5	1.051010	1.045794	1.040604	0.960980	0.956211	0.951466
6	1.061520	1.056252	1.051010	0.951466	0.946744	0.942045
7	1.072135	1.066815	1.061520	0.942045	0.937370	0.932718
8	1.082857	1.077483	1.072135	0.932718	0.928089	0.923483
9	1.093685	1.088258	1.082857	0.923483	0.918900	0.914340
10	1.104622	1.099140	1.093685	0.914340	0.909802	0.905287

*元金 1 に対して

*毎年の支払金額 1 に対して

50 【団体定期保険の保険料】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

団体定期保険において、所定の条件を満たしている優良被保険団体については、更新時の保険料率算定の際、(A)純保険料率を一定の範囲内に軽減した(B)特別の保険料率を適用することができる。

ア. A－貯蓄保険料率

イ. A－付加保険料率

ウ. B－自然保険料率

エ. B－平準保険料率

オ. C (A・Bともに正しい)

【生存率・生存数・平均余命・保険料計算】

文中の空欄【 6 】～【 10 】に入る最も適切な数値を選んでください。

(5) <付表1>の生保標準生命表 2018 (死亡保険用) (女) を用いて計算すると、

① 45 歳の女子が 55 歳まで生存する確率は、【 6 】である。(解答は小数第 6 位四捨五入)

② 60 歳の女子が 10 万人いる。5 年後に生存している人数は、【 7 】人である。(解答は小数第 1 位四捨五入)

③ 109 歳の女子の平均余命は、【 8 】年である。(計算過程および解答は小数第 3 位四捨五入)

(6) <付表1>の生保標準生命表 2018 (死亡保険用) (女)、<付表2>の複利表・複利現価表 (年 1.0%) を用いて計算すると、

① 保険金 700 万円、女子 50 歳加入の 1 年定期保険の純保険料の計算において、死亡者全員分に対して支払われる保険金総額の現価は、【 9 】千円である。(解答は千円未満四捨五入)

② 純保険料は、【 10 】円である。(解答は 10 円未満四捨五入)

語群

- ア. 0.97865
- イ. 0.98130
- ウ. 1.02
- エ. 1.49
- オ. 13,640
- カ. 13,710
- キ. 97,483
- ク. 97,957
- ケ. 1,330,693
- コ. 1,337,330

46【積立に関する法的規制】

次の文章について、下線部 A または B のいずれかが誤っている場合と、A・B ともに正しい場合とがあります。A または B のいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・B ともに正しい場合は、記号 C を選択してください。

標準責任準備金制度の対象となる第三分野の保険契約については、医療政策等の外的要因や保険契約者の想定外の行動の影響を受けやすく、また、(A) 終身保障 タイプの商品が多いこと等から、2007 年度 (平成 19 年度) から保険事故発生率の不確実性に焦点を当てた「ストレステスト」「(B) 資産十分性テスト」を実施することにより、責任準備金の十分な積立水準を確保するよう、責任準備金等ルールの整備が図られている。

- ア. A－短期保障
- イ. A－有期保障
- ウ. B－採算性
- エ. B－負債十分性
- オ. C (A・B ともに正しい)

47【配当準備金繰入】

次の文章について、下線部 A または B のいずれかが誤っている場合と、A・B ともに正しい場合とがあります。A または B のいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・B ともに正しい場合は、記号 C を選択してください。

社員配当準備金等への繰り入れについては、保険業法において、剰余金から基金利息、損失てん補準備金および基金償却積立金への繰入額等を控除した金額の一定比率以上を積み立てることを (A) 定款 に定め、その比率が内閣府令で定める比率 (同施行規則により (B) 20% とされている) を下回ってはならないことが定められている。

- ア. A－保険約款
- イ. A－保険料及び責任準備金の算出方法書
- ウ. B－50%
- エ. B－80%
- オ. C (A・B ともに正しい)

48 [配当金の計算方法]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

現在採用している通常の有配当契約（主契約部分）における契約者配当金（通常配当金）の計算内容は、およそ次の3つを合計したものである。

- ・ 死差益配当 = (死差益配当率) × (保険金 - (A) 危険準備金)
- ・ 利益差配当 = (利益差配当率) × (保険年度末保険料積立金)
- ・ 費差益配当 = (費差益配当率) × (B) 保険金

ア. A－保険年度末保険料積立金
イ. A－繰越利益剰余金
ウ. B－消滅時保険料積立金
エ. B－年間保険料
オ. C (A・Bともに正しい)

49 [特別勘定の位置付け]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

特別勘定の位置付けについて、保険業法には、保険会社は「(A) 積立型保険契約」その他の内閣府令で定める保険契約について、当該保険契約に係る資産をその他の資産と区別して経理するため、特別勘定を設けなければならないと定められている。また、特別勘定は、内閣府令で定める場合を除き、一般勘定（特別勘定以外の勘定）または他の特別勘定との振替(B)を禁止されている。

ア. A－運用実績連動型
イ. A－運用実績非連動型
ウ. B－認められている
エ. B－をしなければならない
オ. C (A・Bともに正しい)

[複利運用]

文中の空欄【 1 】～【 5 】に入る最も適切な数値を選んでください。

- (1) 元金30万円とした場合、
① 月利率0.15%、1ヵ月複利で運用した場合の半年後の利息は、【 1 】円である。(計算過程は小数第7位四捨五入、解答は円未満四捨五入)
② 年利率1.2%、半年複利で運用した場合の3年後の元利合計額は、【 2 】円である。(計算過程は小数第7位四捨五入、解答は円未満四捨五入)
(2) 名称利率1.5%、転化回数6回により複利計算した場合、元金1の複利率は、【 3 】%である。(解答は小数第3位四捨五入)
(3) 年利率1.5%の複利で4年間運用した場合の年平均利回りは、【 4 】%である。(計算過程は小数第7位四捨五入、解答は小数第3位四捨五入)
(4) 毎年始（期始）40万円ずつ今後5年間にわたって支払っていくためには、現在において資金が【 5 】円必要である。なお、資金の運用利回りは年利率1.1%とする。(計算過程は小数第7位四捨五入、解答は円未満四捨五入)

語群

ア. 1.14
イ. 1.26
ウ. 1.51
エ. 1.53
オ. 2.257
カ. 2.710
キ. 309.109
ク. 310.963
ケ. 1.935.658
コ. 1.956.950

44 [責任準備金の積立]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

保険期間10年の(A)定期保険で(B)自然保険料の場合、責任準備金(保険料積立金)の積み立てが必要となる。

ア. A－生存保険
イ. A－養老保険
ウ. B－平準保険料
エ. B－割増保険料
オ. C (A・Bともに正しい)

45 [養老保険の積立金]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

養老保険では、保険年度が進むにつれて保険料積立金が累増するので、一定金額である保険金から保険料積立金を差し引いた(A)生存保険金は通減する。この通減する(A)生存保険金に死亡率を乗じたものを(B)危険保険料とみなしても、あまり大きな誤差は生じない。

ア. A－危険保険金
イ. A－死亡保険金
ウ. B－死亡保険料
エ. B－定期保険料
オ. C (A・Bともに正しい)

[死亡表の種類]

文中の空欄【11】～【15】に入る最も適切なものを選んでください。

死亡表の種類は、その分類の仕方によって異なり、例えば、国民あるいは特定地域の人口を対象として、その人口統計による死亡状況を表した「国民生命表」と、生命保険会社などの保険事業者集団が実際の死亡統計に基づいて作成した「【11】」とに分けられる。「国民生命表」は、5年ごとの国勢調査による男女別、年齢別人口とその時期の人口動態統計による男女別、年齢別死亡数を材料にして精緻な統計処理によって作成される「【12】」と、毎年の人口動態統計の死亡数と推計人口を用い、簡略化された計算によって算定された死亡数を表示する「簡易生命表」とに分けられる。「【11】」は、経過年数による区別により、「【13】」と「選択表」とに分けられる。「【13】」は、保険契約加入後の経過年数を考慮しないで全期間を対象に年齢別にまとめた死亡表であるが、生命保険会社では被保険者について医的診査や告知書などの方法で健康体を選択するので、一般には「国民生命表」よりも低い死亡率を示す。しかし、加入後、年数が経過するにつれてそれらの【14】が次第になくなり、死亡率が上昇するのが普通であり、その変化を追跡できるように【15】、経過年数別に死亡率を表示したものを「選択表」という。

語群

ア. 完全生命表
イ. 基礎生命表
ウ. 経年生命表
エ. 告知効果
オ. 全体生命表
カ. 選択効果
キ. 総合表
ク. 地域別
ケ. 統一表
コ. 年齢別

【払済保険】

文中の空欄【16】～【20】に入る最も適切なものを選んでください。

保険料払込期間中に保険料の払い込みが困難となった場合、【16】を利用して契約の存続を図る方法の1つが払済保険への変更である。

払済保険の保険金（払済保険金）は、変更時の元契約の【17】保険期間を保険期間とし、【18】を加入年齢とする養老保険（または終身保険等）の一時払保険料（ただし、【19】は組み込まない）に【16】を振り替えて新しく計算した保険金である。なお、この際、元契約と【20】基礎率を用いる。

語群

- ア. 維持費
- イ. 同じ
- ウ. 解約返戻金
- エ. 既経過
- オ. 既払込保険料
- カ. 異なる
- キ. 残存
- ク. 新契約費
- ケ. そのときの被保険者の到達年齢
- コ. 元契約加入時の被保険者の加入年齢

42【保険計理の基礎】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

同一性・同一年齢の多数の加入者が同じ種類の死亡保険に加入すると、(A)大数の法則によって、全保険期間にわたって加入者の死亡状況が推定でき、その死亡者数と運用によって得られる利息を考慮したうえで、収入保険料総額と支出する保険金（および諸経費）総額との収支のバランスを図る原則を(B)信義誠実の原則という。

- ア. A－衡平性
- イ. A－相互扶助
- ウ. B－収支相等
- エ. B－ベスティング
- オ. C（A・Bともに正しい）

43【純保険料の変化】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

純保険料の計算基礎において、予定死亡率を高く、予定利率を低くした場合、定期保険の純保険料は(A)高くなる。また、養老保険の純保険料は(B)低くなる。

- ア. A－変わらない
- イ. A－低くなる
- ウ. B－変わらない
- エ. B－高くなる
- オ. C（A・Bともに正しい）

【 23 】 予定事業費の現価について

女子 45 歳加入、保険期間 5 年、保険金 150 万円の養老保険の予定事業費の現価について、正しい数値を 1 つ選んでください（計算過程および計算結果は千円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表 1＞の生保標準生命表 2018（死亡保険用）（女）を使用してください。なお、保険料払込免除のための保険料は考慮しないものとし、予定事業費率は保険金比例の予定新契約費（保険金千円につき 25 円）のみとします。

ア. 3,681,000 千円

イ. 3,685,463 千円

ウ. 3,689,625 千円

【 24 】 養老保険の年払営業保険料について

女子 45 歳加入、保険期間 5 年、保険金 150 万円の養老保険の年払営業保険料について、正しい数値を 1 つ選んでください（計算過程の収入は小数第 1 位四捨五入、支出は千円未満四捨五入、計算結果は 10 円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表 1＞の生保標準生命表 2018（死亡保険用）（女）、＜付表 2＞の複利表・複利原価表（年 1.0%）を使用してください。

ア. 299,310 円

イ. 299,660 円

ウ. 300,190 円

35 【延長保険】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

保険料払込期間中に保険料の払い込みが困難となった場合、そのときの解約返戻金を定期保険の一時払保険料に充当することにより延長保険に変更することができる。この場合、死亡保険金額は元契約より少なくなるが、保険期間は変わらない。ただし、満期を迎えても生存保険金の支払対象とはならない。

正

誤

36 【1 年定期保険の純保険料】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

予定利率を一定として各年齢ごとに 1 年定期保険の純保険料を計算すると、予定死亡率の動きを反映したものとなる。

正

誤

37 【契約転換制度】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

契約転換制度は、既契約（転換前契約・複数可）の転換価格を新しい契約（転換後契約）の一部に充当するため、新規に加入するよりも保険料がその分安くなる。ただし、転換後契約の計算基礎は通常、転換時のものを使用するため、例えば予定利率が転換前契約のものより低くなる場合がある。

正

誤

38 【剰余金の発生源】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

経過年数が短い契約については、通常、危険選択の効果が薄く、実際死亡率が予定死亡率を上回るので死差益は少ないが、経過年数が増すにつれて選択効果があらわれ、死差益は多くなる。

正

誤

39【配当方法】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

契約者配当の割当方法が具備すべき主な条件には、①公平性、②弾力性、③実用性、④大衆性などがあり、これらのうち公平性と実用性の有無が基本的な条件といえるが、互いに矛盾し合う側面もあり、その調和を実務面で考慮しなければならない。

正
誤

40【運用リスクの帰属】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

資産運用に関するリスクは、定額保険・変額保険とも生命保険会社に帰属する。

正
誤

【21】死亡保険金の現価について

女子45歳加入、保険期間5年、保険金150万円の養老保険の、5年間に支払う死亡保険金の現価について、正しい数値を1つ選んでください（計算過程および計算結果は千円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表1＞の生保標準生命表2018（死亡保険用）（女）、＜付表2＞の複利表・複利原価表（年1.0%）を使用しててください。

ア. 1,082,173 千円
イ. 1,087,571 千円
ウ. 1,187,486 千円

【22】満期保険金の現価について

女子45歳加入、保険期間5年、保険金150万円の養老保険の、5年後に支払う満期保険金の現価について、正しい数値を1つ選んでください（計算結果は千円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表1＞の生保標準生命表2018（死亡保険用）（女）、＜付表2＞の複利表・複利原価表（年1.0%）を使用しててください。

ア. 138,933,541 千円
イ. 139,207,563 千円
ウ. 139,461,605 千円

41【死亡率】

＜ここからは適切な組み合わせを選んでください。＞

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。

実際の人口統計に基づく死亡率を(A)粗死亡率と呼ぶのに対し、(B)補整によって求められた死亡率を(C)補整後死亡率と呼んで区別している。

ア. A－単純
イ. A－素
ウ. B－平均
エ. B－分類整理
オ. C (A・Bともに正しい)

【 27 】 純保険料式保険料積立金について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 計算方法として、将来法と過去法の2つの方法があるが、それぞれの計算に用いる基礎率（死亡率、利率）が同一であれば、両者の方法による保険料積立金額は一致する。

イ. 終身保険の純保険料式保険料積立金については、死亡率が1となる最終年齢の年度に死亡保険金の水準に到達する。

ウ. 保険料積立金は養老保険では年を追って通増し、満期時に満期保険金相当額に達する。一方、定期保険、高倍率定期付養老保険では、ゆるやかな山なりのカーブを描いて最終的にゼロになる。

【 28 】 事業年度末責任準備金について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 保険業法では、事業年度末に積み立てる責任準備金について、事業年度末までに経過した期間に見合う保険料部分に対応する積立金（保険料積立金）、翌事業年度以降に対応する保険料部分（未経過保険料）および危険準備金の3つに分けて計算することとされている。

イ. 未経過保険料は、事業年度内に最後に払い込まれた保険料の有効期間末が事業年度末を超える期間（未経過期間）に応じ、比例的に算出される。

ウ. 危険準備金については、「保険リスク」、「第三分野保険の保険リスク」、「予定利率リスク」および「最低保証リスク」に備えるものとされる。

【 29 】 解約返戻金について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 解約返戻金は、解約の場合だけでなく、契約者に契約継続の意思が全くなって失効した契約についても、契約者の請求に応じて支払われる。

イ. 保険料の自動振替貸付と契約者貸付の限度基準は、現在、解約返戻金ではなく既払込保険料相当額が用いられている。

ウ. 解約返戻金は、払い込まれる保険料から、毎年の保険金の支払いおよび契約の締結・維持に必要な諸経費を差し引いた残額として、個々の契約についてあらかじめ定められた金額（約定価格）である。

【 30 】 団体年金保険の数理について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 年金制度の主な財政方式として、積立水準の低いものから高いものへ順に並べると、即時積立方式、平準積立方式、完全賦課方式の順となる。

イ. 年金制度の財政を維持するための保険料は、一般に、通常保険料と特別保険料とに分けられる。主として将来勤務に関連して生ずる費用は通常保険料とし、過去勤務に関連して生ずる費用は特別保険料として積み立てるのが一般的である。

ウ. 年金財政はその健全性を維持するために、一定期間ごとに基礎率の検討を行い、必要に応じて年金制度の再計算を行うのを通例とする。再計算の結果、新責任準備金が旧責任準備金より大きい場合には、その差額に相当する後発債務が発生する。

<ここからは正誤を選ぶ問題です。>

31 [生命保険契約と年齢]

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

現在、すべての生命保険会社では、契約年齢の計算に満×歳を中心に前後6カ月の被保険者に対して×歳の保険料率を適用する「保険年齢方式」を採用している。これは、「満年齢方式」よりも各年齢で保険料が安くなるからである。

正
誤

32 [単利]

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

単利法における元金、(運用) 期間、利率、利息の関係は、「利息＝元金×期間×利率」という式で表すことができる。

正
誤

25 [契約者配当金の分配・支払方法について]

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

7. 保険を買い増す方法
配当金を年払保険料として契約応当日に保険を買増し(保険金を増額)する。

1. 保険料と相殺する方法
契約応当日に始まる保険年度について、配当金を保険料払込回数にかかわらず、その年度の保険料にまとめて充当、相殺する。

7. 現金で支払う方法
月払契約で契約応当日の第1月から第6月までの保険料が払い込まれたときに、第7月目に配当金を現金で一括支払いする。

33 [予定利率]

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

予定利率は、以前は、長期の契約の予定利率を短期の契約よりも低めの、保守的な水準に設定する生命保険会社もあったが、現在では多くの生命保険会社で保険期間によらず保険金額に応じて予定利率を定めている。

正
誤

34 [終価]

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

複利計算による元利合計が終価であり、終価も現価と同様、元金の支払時点によって期始払、期中央払、期末払の3つに分けられる。

正
誤

<ここからは誤っているものを選ぶ問題です。>

26 [営業保険料について]

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

7. 純保険料に上乗せする付加保険料の計算に使用する予定事業費率の決め方には、保険金に比例させる方式、営業保険料(または純保険料)に比例させる方式、双方を組み合わせる方式の3方式のいずれかである。

1. 営業保険料の計算において、保険種類によって異なる計算基礎(予定死亡率など)を用いたり、保険料率を調整したりする場合は、保険種類間でアンバランスが生ずることがあるので、状況に応じて調整を行う必要がある。

7. 生命保険会社がどの保険種類、加入者階層(保険市場)に重点を置いていかにによって、営業保険料の算定に変化をつけることがある。

〈2023 年度〉生命保険講座「生命保険計理」試験問題【フォームC】 解答一覧

1	カ	1 点	31	誤	1 点
2	ク	1 点	32	正	1 点
3	ウ	1 点	33	誤	1 点
4	エ	1 点	34	正	1 点
5	コ	1 点	35	誤	1 点
6	イ	1 点	36	正	1 点
7	ク	1 点	37	正	1 点
8	ウ	1 点	38	誤	1 点
9	コ	1 点	39	正	1 点
10	カ	1 点	40	誤	1 点
11	ウ	1 点	41	オ	3 点
12	ア	1 点	42	ウ	3 点
13	キ	1 点	43	エ	3 点
14	カ	1 点	44	ウ	3 点
15	コ	1 点	45	ア	3 点
16	ウ	1 点	46	エ	3 点
17	キ	1 点	47	オ	3 点
18	ケ	1 点	48	ア	3 点
19	ク	1 点	49	ア	3 点
20	イ	1 点	50	オ	3 点
21	ア	4 点			
22	イ	4 点			
23	イ	4 点			
24	イ	4 点			
25	ウ	4 点			
26	ア	4 点			
27	ウ	4 点			
28	ア	4 点			
29	イ	4 点			
30	ア	4 点			

